

米が野れる想

下関市立美術館開館40周年記念特別展

2024 2.6 (火) 3.17(日)

[主 催] 下関市立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口 [特別協力] 国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館

[助 成] 一般財団法人自治総合センター [協 賛] 川島織物文化館、╣山□県総合業術文化祭 2023

下関市立美術館 Shimonoseki City Art Museum

〒752-0986 下関市長府黒門東町1-1 Tel:083-245-4131 https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/



二代川島甚兵衞《悲母観音綴識額》部分、 895年、東京国立博物館蔵、Image: TNM Image Archives



近代日本美術の胎動期に活躍した狩野芳崖(1八二

起点とした物語― 年の作品までを展観します。 いきます。 展覧会では、この悲母観音からはじまる物語を紡いで ハ-|八八八)が、最期に手掛けた作品《悲母観音》。本 山田敬中や菱田春草にみる東京美 狩野芳崖の最初期の作品から晩 。第一篇では《悲母観音》を

術学校での制作作品、そして芳崖四天王に数えられ

from Kano Hogai to Contemporary Artists Art of Kannon as a Merciful Mother:



狩野芳崖《悲母観音》1888年 東京藝術大学蔵、重要文化財

つの代表作《仁王捉鬼図》や芳崖晩年の仏教画題作品 とともに、現代美術の中に息づく芳崖もご覧いただき 品の模写などをご紹介します。第二篇では、もうひと 響について考えます た作品たちを通して、改めて芳崖の近現代美術への影 芳崖の模倣作やそこからインスピレーションを受け

ます。



る岡倉秋水と高屋肖哲の悲母観音研究や狩野芳崖作

① 狩野芳崖《仁王捉鬼図》1886年、東京国立近代美術館蔵

② 菱田春草《水鏡》1897年、東京藝術大学蔵

③ 四宮義俊《SOKKI-プラスティックドール・浮遊》2017年、 作家蔵 ©YOSHITOSHI SHINOMIYA

④ 坂本英駿《孔雀》2019年、作家蔵

通案内



- ▼バス[サンデン交通]
- ※いずれも「市立美術館・関門医療センター前」下車
- ・JR 下関駅東口(1,2番乗り場)から長府、小月、宇部方面行で約20分。
- · JR 新下関駅 (3番乗り場) から城下町長府経由「マリンランド」行、 または「下関駅 | 行で約25分。
- · JR 長府駅から「長府駅」または「長府駅前」バス停(国道2号線)から 「市民病院」行、または「下関駅」行で約15分。
- ▼自動車(国道9号線沿い、関門医療センター向かい) 中国自動車道下関インターチェンジから下関市街方面に出て、 壇ノ浦方面に進み、国道9号線合流点を左折後、約5分。

下関市立美術館 〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町 1-1 Tel. 083-245-4131 Shimonoseki City Art Museum

https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/



□=予約不要。参加は無料ですが、当日の展覧会観覧受付が必要です。

●=要予約。申込は、美術館ホームページからまたはお電話にて、

□アーティスト・トーク

※1階講堂および展示室(講堂にお集まりください。)

2月11日(日)14時~ 四宮義俊(日本画家)

2月24日(土)14時~ 坂本英駿(日本画家)

□担当学芸員による美術講座

2月18日(日)14時~ 第1回 狩野芳崖について

3月10日(日)14時~ 第2回 狩野芳崖の弟子たちについて

□スライドトーク(すわって展示解説) 2月13日(火)、17日(土)、27日(火)、3月9日(土) 各日10時~ ※約30分

□ギャラリートーク(まわって展示解説) ※展示会場(2階展示ホールにお集まりください。)

2月13日(火)、17日(土)、27日(火)、3月9日(土) 各日14時~ ※約1時間

※通用□横 造形室 ●造形教室 芳崖筆法講座(仮) 2月25日(日)13時~(約3時間)

師/坂本英駿 参加費/2,000円

定 員/15名(先着順)

●歴史×エンターテイメント 狩野芳崖コンサートin蛍遊苑 3月3日(日)14時開演(開場13時30分)~ 所/蛍遊苑(長府中土居本町) 参加費/1,000円 定 員/100名(先着順)

※美術館1階講堂での催事の定員は各回50名を予定しています。